

e&e REPORT

No.128

発行日 2012年5月27日
 川崎市中原区市ノ坪2 23-4-5 15
 電話/FAX 044-434-7291
 メール miyamoto@d03.itscom.net

E&Eレポートは、企業・国・海外の省エネや環境情報を、少しでも皆様にお届けしたいという思いから、毎月発行しているニュースレターです。
 地球温暖化防止にお役に立てれば幸いです。

ToPic 企業動向

●ソニー、国内最大規模の「グリーン熱証書」購入 年間約8,000トン相当のCO2を削減

日本自然エネルギー株式会社とバイオマス熱生成業務委託契約を3年契約で締結し、木質バイオマス熱電供給設備が供給する熱に伴う環境価値「グリーン熱証書」の購入を開始する。購入数量は、年間133,333GJ(ギガジュール)を予定し、CO2換算で年間約8,000トンに相当する。約1,650世帯分の年間CO2排出量にあたる。

木質バイオマス熱電供給設備は、設備周辺の木材工場等で発生する樹皮・製材屑の木質バイオマスを利用して発電および熱供給を行う設備で、同設備からの電力に伴う環境価値「グリーン電力証書」の購入を2007年より継続して行っている。この度、発電と同時に生み出される熱(蒸気)についても、財団法人グリーンエネルギー認証センターより「グリーン熱証書」として認証され、日本自然エネルギー株式会社より購入を開始します。

購入した「グリーン熱証書」は、ソニーグループにおけるエネルギー使用に伴う環境負荷の低減に活用していく。

「グリーン電力証書システム」を2001年より利用してきた、国内ソニーグループ各社の2011年の発電業務委託量は、合計6080万kWh(2012年3月末時点)になる。 「ニュースリリース」

宮本一言メモ 海外からではなく、国内のCO2クレジットを優先的に購入することはすばらしい。

●TMY、一般的な扇風機より体感温度を3度低くできるミストファン

タワー型の扇風機に、霧を放出する機構が組み込まれた製品。風のみを送る扇風機に比べて、体感温度をさらに約3度下げることが可能だ。冷風扇では、機器の内部で水を気化させることで空気の温度を下げるが、ミストファンは霧状の水を皮膚に届け、皮膚上で水が気化することで体感温度を下げる仕組みだ。エアコンと併用することで、より省エネかつ快適な室内環境を作ることが可能だという。ミストの吐出量は110ml/h。容量2.5Lのタンクが装備されており、連続で約22時間ミストを放出することができる。

前面にある前ガード(羽根を保護している部分)の部分の形状と、前ガード部自体が自動で可動するようになっている。この機構により、首振り機能が備えられていないにもかかわらず、正面に対して左右45度ずつ(計90度)の範囲に風が届く。希望小売価格は12,800円。 「マイナビニュース」

宮本一言メモ 環境展では、産業用の換気扇は、ミストファンが花盛り。省エネ効果大きそう。

●アズビル 還り温度制御を組み込んだ「ファンコイルユニット用コントローラ」を発売

『還り温度制御タイプ』は、FCUの出口(還り)水温度を、配管表面温度センサを利用して計測し、還水温度が一定値となるように制御バルブをコントロールすることで過流量を抑制するもの。「還り温度制御ロジック」と共に「室内温度制御ロジック」も搭載しており、室内温度を制御しながら流量制御を行うことができる。

ファンコイルユニットの場合、冷温水の温度差が設計通りに運転されていることが少ないのが実情であり、この「還り温度制御ロジック」を組み込むことで、FCUに流れる冷温水量の過流量を抑制し、FCU一台あたりの送水量を最大45%削減できるという。 「環境ビジネス」

宮本一言メモ 還り温度制御は効果ありそう。

●ダイキン工業、ピークカットなど各種省エネ機能搭載の業務用「エコキュート」発売

ピークカット運転は、設定した時間帯に加熱能力を落とすことで通常運転と比較して消費電力を23%低減する。販売するのは加熱能力が7.5kWと15kWの2機種で、7.5kWの機種では6.0kWに加熱能力を抑えてピークカットする。夜間の沸き上げは「夜蓄運転制御」と呼び、必要な湯をすべて夜に沸き上げ、日中の給湯負荷を夜にシフト。午後10時から始める運転と、午前8時に沸き上がる運転から選択できる。

使用する業種に合わせたプログラムは、飲食店、理美容、福祉施設、一般の4種類を用意した。業種ごとに最適な沸き上げ温度と時間がプログラムで設定しており、リモコンで容易に選ぶことができる。1週間の使用実績を確認することで、それぞれの利用パターンに合わせて湯の量を調節し、沸かし過ぎや湯が切れる状態を防ぐことも可能になっている。

1つのシステムでタンクを4台まで連結でき、40人規模の老人介護福祉施設などの中規模施設にも対応。給湯圧力を従来の約1.8倍に高め、給湯場所が遠く、長い配管でも快適に使用できるようにした。加熱能力7.5kWの機種は95万円(税別)、同15kWの機種は150万円(同)。貯湯ユニット容量はどちらも460L。 「ECO JAPAN」

宮本一言メモ ピークカット機能は今後、あらゆる機器に組み込まれるかも。業界別のプログラム設定も有効

●アクセスが 太陽光発電ライフを楽しむ“ソーラー発電専門誌”創刊

ソーラー発電専門誌『SOLAR JOURNAL』では、環境意識の高いファミリー層に向けてソーラーパネルやスマートライフなどの最新情報をわかりやすく、スタイリッシュに発信していく。創刊号では、タレントで歌手のつるの剛士がソーラーについて学ぶ「つるの剛士、ソーラーに挑みます！」や、環境大国であるドイツとデンマークのソーラー事情を紹介。また、日本のエネルギー自給率マップ、夏からはじまる全量買取制度などについても特集する。

同誌は、季刊(1・4・7・10月15日)発行予定で定価300円

「オリコン」

宮本一言メモ 一般人向けにこのような雑誌が発売されるのは、それだけ普及しているということだろう。

●インテリジェンス 新エネルギー向け派遣

7月からの再生可能エネルギーの全量買取制度の開始を控え、関連する人材需要が見込めることに対応する。人材は契約社員として採用し、研修で業務に必要な知識やスキルを習得させた上で顧客企業に派遣する。当初は補助金申請関連の事務処理や問い合わせに対するコールセンター向けなどの需要を見込んでいる。その後、順次対応領域を広げる。 「日経産業新聞」

宮本一言メモ 目ざとい人がいるのですね。新規参入障壁が下がり普及に拍車がかかりそう。

●住友電工、大型蓄発電システム開発 7月から実証運転

電力貯蔵に使われる充電電池「レドックスフロー電池」と、発電効率の高い集光型の太陽光発電装置を組み合わせた大型の蓄発電システムを開発し、2011年をめぐりに本格販売すると発表した。事業化に向け、情報通信関連の主力拠点である横浜製作所に約10億円を投じて実験用のシステムを設置し、7月から実証運転を開始する。

実証運転では横浜製作所の敷地内に計28基の集光型太陽光発電装置(最大発電量200kW)と、発電した電力や夜間に電力会社から購入した電力をためるレドックスフロー電池(蓄電容量5000kWh)を設置。充電電池にためた電力を使うことで、ピーク時に同製作所の使用電力量の約1割にあたる最大1000kWを抑制できるという。

「ビジネスアイ」

宮本一言メモ NAS電池の代替? 以前から瞬停対策用で実用化はされていた。

Topic 国・地方自治体動向

● 210億円の補助金、国の1/3負担で定置用蓄電池市場が始動

経済産業省は、平成23年度第三次補正予算による「定置用リチウムイオン蓄電池導入促進対策事業費補助金」に関する一般購入者の申請(予約申請)を開始した。事業期間は平成25年度(2013年度)末、もしくは交付額が予算の210億円に達するまでとなる。

補助は個人と法人での申請が可能であり、補助率は1/3となる。どちらも容量1kWh以上の蓄電システムが対象で、個人向けは最高100万円まで補助。一方、法人向けは1.0kWh以上で10kWh未満は蓄電システムのみが補助対象となる。10kWh以上の蓄電システムの場合は、設置工事費と蓄電システムに付随する筐体(キュービクル)や表示装置などの付帯設備費まで補助対象となる。法人向けでは最高1億円まで補助。

補助金の申請や交付などの業務は、環境共創イニシアチブ(SII)が担当する。補助対象となるのは、SIIの認証を受けた機器のみとなる。ただし、現在のところ対象機器は3社7製品。今後も審査を続ける。http://sii.or.jp/lithium_ion/file/setsumeikai.pdf 「日経エレクトロニクス」

☐宮本一言メモ 蓄電池は電力の平準化には大変有効。投資効果の面からはどうか?

● 新築住宅・建築物の省エネ基準適合が義務化、まずは大規模建築物から

工程表(案)は、より高い省エネ性能の住宅・建築物の建築推進に、太陽光発電等によるエネルギー創出量をはじめ、住宅・建築物のライフサイクルの各段階におけるCO2排出量なども総合的に評価する指標とする。2012年度以降早期に、住宅性能表示基準を改正する。

新築住宅・建築物の最低限の省エネ性能を確保するために、新築住宅・建築物の規模を大規模(2,000m²以上)、中規模(300~2,000m²)、小規模(300m²未満)に分けて、まずは、大規模の建築物から導入していく。大規模・中規模の建築物は届け出義務、小規模建築物は努力義務とする。義務化の水準は、見直し後の省エネ基準を基本に、義務化導入時点での省エネ基準達成等を勘案して設定する。省エネ基準の改正は、非住宅で2012年度中に、住宅で2012年度以降早期に施行する。

技術者・体制等の整備では、中小工務店等に対して、5か年計画で省エネ施工技術習得支援を実施する。また、大規模の建築物に対する省エネ基準への適合義務化に向けて、建材・機器の性能・品質を担保・表示する制度等も整備する。

住まい方の改善策として、スマートメーターと連携した、HEMS・BEMS等の導入支援、時間帯料金等の柔軟な料金メニューの導入によるインセンティブの付与などを実施していく。

2020年までには、住宅について、標準的な新築住宅でZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を、建築物については、新築公共建築物等でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を実現すること、2030年までには、新築住宅の平均でZEHを、建築物については、新築建築物の平均でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を実現することを、目指すべき姿としている。 「環境ビジネス」

☐宮本一言メモ 住宅・建築物の構造面から省エネは機器や運転による省エネと両輪。今まで遅れすぎ。

● 温室効果ガス 原発ゼロでも「25%減」環境省、2030年試算を公表

東京電力福島第1原発事故を受け、温室効果ガスの削減目標の見直しを検討している環境省の中央環境審議会小委員会は、2030年の時点で発電電力に占める原発の割合をゼロにしても、温室効果ガスの排出量が1990年比で最大25%削減できるとの試算を公表した。

試算は国立環境研究所が実施したとのこと。2011~20年度の平均成長率が実質2%程度で、消費者物価上昇率が中長期的に2%で推移する「成長シナリオ」と、平均成長率が実質1%強で、消費者物価上昇率が1%程度で推移する「慎重シナリオ」を想定。両シナリオを、省エネの促進や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入対策の強度に応じてさらに3分類し、それぞれについて、原発の割合が0%、20%、25%、35%の4パターンで試算した。

その結果、90年比の温室効果ガスの削減可能量は、▽原発の割合0%=成長シナリオ5~20%、慎重シナリオ10~25%▽同20%=成長シナリオ14~29%、慎重シナリオ19~33%▽同25%=成長シナリオ16~30%、慎重シナリオ21~35%▽同35%=成長シナリオ20~34%、慎重シナリオ25~39%となった。

☐宮本一言メモ エネルギーの構成と経済成長とエネルギー消費量の相関割合で大きく変わる。 「green plus」

● 関東経済局が中小企業等の省エネ活動事例を紹介

1. 中小企業等による『連携』省エネ活動事例集 本事例集は、省エネに関する情報不足を解消するため、複数の中小企業が協力しながら省エネ活動を実施している事例や、平成23年夏の電力不足に対応するため、地域全体で節電に取り組む事例などを掲載している。

①省エネに積極的に取り組んでいる業界団体、②オーナーとテナント双方が協力して省エネを実施しているテナントビル、③省エネの推進を一つの支援と捉え、地域ぐるみで活動している産業支援機関、④『省エネ町内会』を活用し、連携した省エネ活動を実施した組合 など。

2. 中小企業等の省エネ取組事例集 中小企業等が省エネ活動を実施している事例について調査し、その結果を事例集としてまとめた。

中小企業が補助金を活用しながら設備投資を行い、省エネを実現している例や、設備の運用面において、継続した省エネ活動を実施している事例などを掲載している。http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/enetai/3-2syoene_jirei.html 「節電対策メールマガジン」

☐宮本一言メモ 中小企業にはやはりお金のかからない事例の紹介と環境面の意識の向上が求められる。

Topic 展示会・その他情報

● スマートグリッド展 2012/次世代自動車産業展 2012 <http://www.nikkan.co.jp/eve/smart/index.html>

環境とエネルギーを軸にした産業技術見本市

開催日 : 2012年5月30日(水)~6月1日(金)

場所 : 東京ビッグサイト

料金 : 無料 要登録

主催者 : 日刊工業新聞社

連絡先 : スマートグリッド展/次世代自動車産業展事務局 Tel :03-5644-7221 Fax :03-5641-8321

後記 チェンジモンスター (改革を妨害したり、かき回したりする怪物)

ポストンコンサルティンググループ

「タコツボドン」

- ・自分の担当を越えた視野を持つことを拒否
- ・よそ者の関与を否定(自分のたこつぼに閉じこもる)



「ウチムキング」

- ・社内で何が評価されるかを重視
- ・全ての行動を顧客ではなく、内向きに焦点を合わせ、社内外のズレに目を閉ざす



「カイケツゼロ」

- ・課題の指摘や出来ない理由の説明は巧みだが、解決策は見いだせない
- ・何度も検討して無理。理由は・



「マンテン」

- ・全てのリスクを潰さないと動きださない
- ・まだデータ不足。もう少しじっくり検討



あなたの会社にも生息しているかも。トイレを探してみては? <http://www.bcg.co.jp/documents/file26836.pdf>

☐宮本一言メモ モンスターは全部で7匹います。挿し絵が気に入りました。